

2023年3月25日作成

Ver.1.0

ベンゾジアゼピン受容体作動薬とオレキシン受容体拮抗薬が 転倒・転落インシデントに及ぼす影響の比較研究

1、研究の目的と意義

入院患者さんの転倒・転落を予防することは、患者さんの生活の質を維持するために重要です。目的は、ベンゾジアゼピン受容体作動薬に分類される睡眠薬と、オレキシン受容体拮抗薬に分類される睡眠薬を比較し、転倒・転落に影響を及ぼしにくい睡眠薬を調べることです。本研究の結果より、新たな転倒予防対策を講じることができるようになる可能性があります。

2、対象となる患者さん

2020年6月1日から2022年5月31日までに長崎大学病院に入院した18歳以上の患者さんのうち、入院日もしくは入院翌日に転倒・転落アセスメントスコアシートの作成がなされ、ベンゾジアゼピン受容体作動薬もしくはオレキシン受容体拮抗薬を服用された方を調査の対象とします。

3、研究の方法

長崎大学病院のみで行う、過去の電子カルテの情報を用いた調査研究です。ベンゾジアゼピン受容体作動薬を服用された患者さんと、オレキシン受容体拮抗薬を服用された患者さんとで、入院中の転倒・転落の発生割合に差があるか否かを調査します。

4、研究に用いる情報

性別、年齢、入院診療科、入院時に医療者が作成する転倒・転落アセスメントスコアシート
転倒・転落発生の有無、併用薬、入院期間

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

2023年6月20日～2024年12月31日

6、外部への試料・情報の提供

該当なし

7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 安全管理部/薬剤部 橋詰 淳哉

8.お問い合わせ先

長崎大学病院 安全管理部/薬剤部 橋詰 淳哉

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7248 FAX 095（819）7251

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）